



『毎日ひとつチャレンジしよう！』

Every Day One Challenge

園庭の山桜が、私たちの春をも祝うかのように、時を合わせて咲き始めました。そして、こどもたちの豊かな感性を育むための絶対条件であるこの自然が、『にしこおり』の里に満ち溢れていることに、大きな喜びを感じています。

あらためまして保護者のみなさま、お子さんのご入園ご進級おめでとうございます。今年度は3歳児ほし組9名、4歳児はな組2名、5歳児そら組11名、全員で22名と昨年度より増加したこどもたちを主人公に、2025年度錦郡幼稚園を開幕いたします。「今のこどもたちの『こども時代』を保障するのが、私たちおとなの義務」保護者・地域・職員が手を取り合って、こどもたちを育ていけますよう、また、私たちおとなも学びあい育ちあうことができますよう、ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

さて、開幕にあたり、本園の2025年度キャッチフレーズを職員で考えました。こどもたちだけでなく、保護者や地域のみなさん、我々職員チーム、『にしこおりファミリー』みんなのことを思い浮かべ、今必要な事はと熟考の末に・・・

『毎日ひとつチャレンジしよう！』(Every Day One Challenge)としました。小さなことでもいい、うまくいなくてもいい、一緒にやってもいい、何度やってもいい、新しくなくてもいいのです。また、こどもたちだけではありません。私たちおとなも大いにチャレンジしていきましょう！

繰り返しになりますが、『にしこおり』には、人間の成長に最も必要なもの、豊かな自然があります。他に類をみないこの環境のもと、こどももおとなもいきいきと育っていくために、ゆったりじっくりチャレンジしながら、日々生活していきましょう。チャレンジの第一歩は「元気にあいさつ みんなにここに笑顔いっぱい」とします。引き続き、今日も明日も行きたい幼稚園をみんなの笑顔で創っていきましょう。

あとになりましたが、今年度も園長を務めさせていただくことになりました塩野義和（しおのよしかず）と申します。この2年間、保護者や地域のみなさん、錦郡小学校、第二中学校、大阪大谷大学からと数多くの応援をいただき、こどもたちの成長にも大きな成果がみられ、私自身も多くを学ばせていただきました。3年めは、更に新しい事にもチャレンジし、みなさんと一緒に『にしこおり』黄金時代を築いてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

園長 塩野 義和